

第3回 習志野・八千代・船橋地区 地域協議会

令和5年10月12日（木） 14:00～
千葉工業大学



千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

1

習志野・八千代・船橋地区に所在する 県立高校の状況について



千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

2

I 習志野・八千代・船橋地区に所在する 県立高校の募集学級数の推移について

【募集学級数の推移（令和元年度以降）】

	R1	R2	R3	R4	R5	R6		R1	R2	R3	R4	R5	R6
八千代	9	9	8	8	8	8	船橋啓明	8	8	7	8	8	8
八千代東	8	8	7	8	8	7	船橋芝山	8	8	8	8	8	8
八千代西	5	5	4	5	5	5	船橋二和	8	8	7	8	8	7
津田沼	9	8	8	8	8	8	船橋古和釜	6	6	6	6	6	6
実 翔	8	8	8	8	8	8	船橋法典	6	6	5	6	6	6
船 橋	9	9	9	9	9	9	船橋豊富	6	5	4	4	4	4
薬園台	8	8	8	8	8	8	船橋北	6	6	5	6	5	5
船橋東	8	8	8	8	8	8	※都市部における適正規模（1学年6～8学級） を下回っている年度を赤で表示						

3

I 習志野・八千代・船橋地区に所在する 県立高校の募集学級数の推移について

【本県における適正規模の考え方】

- 教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動を展開
することが可能な規模
- 1学年あたりの学級数 **都市部：6～8学級**
郡 部：4～8学級

【参考】
学校教育法施行規則第41条
「**小学校の学級数**は、**十二学級以上十八学級以下を標準**とする。
ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、
この限りでない。」
学校教育法施行規則第79条
「第41条の規定は、**中学校に準用**する。」

4

I 習志野・八千代・船橋地区に所在する 県立高校の募集学級数の推移について

【参考】他都道府県における適正規模の設定状況 (R2.6.1当課調べ)

適正規模の設定	1学年あたりの適正規模	都道府県の数	主な都道府県
有	8	1	奈良
	6~8	10	東京、埼玉、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡他
	4~8	26	北海道、茨城、栃木、群馬、岡山、山口、佐賀他
	4~6	2	岩手、福島
	3~8	2	三重、長崎
	条件ごとに異なる	5	青森、千葉、長野、京都、広島
無		1	香川

5

II 習志野・八千代・船橋地区に所在する 県立高校の志願状況について

【参考】一般入学者選抜における志願状況の推移

(確定志願者数/募集定員)

		R3	R4	R5			R3	R4	R5	
八千代	普通	347/240	358/240	334/240	船橋東	普通	415/320	375/320	500/320	
	体育	42/40	40/40	45/40		船橋啓明	普通	255/280	341/320	329/320
	家庭	45/40	50/40	43/40		船橋芝山	普通	316/320	394/320	380/320
八千代東	普通	255/280	295/320	279/320	船橋二和	普通	261/280	291/320	304/320	
八千代西	普通	183/160	170/200	123/200	船橋古和釜	普通	232/240	232/240	214/240	
津田沼	普通	504/320	515/320	462/320	船橋法典	普通	194/200	238/240	202/240	
実 靱	普通	360/320	361/320	380/320	船橋豊富	普通	122/160	83/160	58/160	
船 橋	普通	563/320	587/320	569/320	船橋北	普通	188/200	142/240	140/200	
	理数	65/40	67/40	67/40						
薬園台	普通	359/280	394/280	409/280						
	園芸	44/40	28/40	48/40						

※適正規模の下限(1学年6学級)未満の年度をピンクで表示
 ※定員を下回った志願者数(確定時)を赤で表示

6

この地区の県立高校の配置状況



7

III

この地区の県立高校に
今後必要とされる学びは何か



千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

8

Ⅲ この地区の県立高校に今後必要とされる学びは何か

議論の方向性

高等学校教育の在り方ワーキンググループ
中間まとめ(令和5年8月31日)より

論点① 全日制・定時制・通信制の望ましい在り方

論点② 社会に開かれた教育課程の実現、
探究・文理横断・実践的な学びの推進

論点③ 少子化が加速する地域における
高等学校教育の在り方

Ⅲ この地区の県立高校に今後必要とされる学びは何か

論点③

少子化が加速する地域における高等学校教育の在り方

キーワード

- ・各市における街づくり計画や地域活性化策
- ・各市における小中学校の将来計画

(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し

現在の学年	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5歳
卒業年月	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3
習志野市	1,664	1,700	1,615	1,728	1,659	1,656	1,701	1,733	1,621	1,558
八千代市	1,972	1,925	1,830	1,776	1,817	1,713	1,765	1,799	1,738	1,601
船橋市	5,463	5,431	5,438	5,396	5,267	5,164	5,098	5,110	4,898	4,631
合計	9,099	9,056	8,883	8,900	8,743	8,533	8,564	8,642	8,257	7,790

出典：学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁目別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成